



札幌部会(第5回)

日時:	2012年11月10日(土) 14:30-17:00
場所:	Sapporo55ビル5階 キャリアバンクセミナールーム
参加者:	野間(同志社大)、濱地(道教大札幌校)、川瀬(札幌開成高)、松澤(札幌藻岩高)、佐藤(北海道江別高)、志田(北海道千歳北陽高)、櫻田(札幌龍谷高)、中村(札幌光星高)、山下(札幌市立啓明中)、兼間(札幌市立平岡中学校)、清水(札幌市立平岡中央中)、菅原(札幌市立信濃中)、竹内(浦河町立浦河第一中学校)、大居(札幌市立栄町中)、山崎(北海道豊富高)[順不同]

【内容要旨】

1. 野間先生より、新井先生(都立小石川中等)作成の東京部会レポートに基づいて、来年度の夏休み経済教室の予定について説明があった。札幌では冬に経済教室を開催する予定。また、ネットワーク会員(山崎、新井先生、高橋先生)による各種学会発表の紹介があった。その他、稚内(2月9日予定)や岩手でワークショップと、京都での年次大会(3月23日予定)の内容「法と経済」に関する告知があった。
2. 山崎より、日本社会科教育学会で発表した内容「大学入試と高校経済教育」について説明した。これは、3年間に渡って行ってきた、経済教育ネットワークで立ち上げた入試問題検討プロジェクトの総括であり、大学の経済学者と高校の公民科教員での問題分析の視点や、各種大学別の四観点別出題割合を明らかにしたものである。その後、野間先生より、経済教育ネットワークで大学入試問題の分析が始まった理由について補足説明があった。
3. 参加された各先生より、高校入試や考査問題について、資料を用い、または口頭で説明があり、その後、情報交換、意見交換が行われた。配布された資料は以下の通りである。
 - ① 中村先生からは、知るぽると(金融広報中央委員会)の「金融教育公開授業in北海道」のチラシが配布され、12月11日に札幌光星高において行われるご自身の公開授業の紹介があった。
 - ② 濱地先生からは、『社会科教育』(明治図書出版)10月号に掲載されているご自身の原稿を基に、物語教材を使ってお金について考えるという方法が提示された。また、『同誌』1月号(12月12日発売)には山崎による議論学習に関する原稿も掲載される予定。
 - ③ 野間先生より、竹内先生(奈良学園中)と力丸先生(横浜市立潮田中)の経済分野の考査問題
 - ④ 松澤先生「お金から始めるキャリア教育」
 - ⑤ 山下先生と清水先生より、各県の高校入試問題の抜粋資料及びマトリクス表
 - ⑥ 川瀬先生と山下先生、竹内先生よりご自身の経済分野の考査問題

その後、野間先生より、⑤、⑥などに見られるように、高校入試や中学校の教科書でよく取扱われる「メロンの入荷量と価格の動き」については、問題の中で前提条件を明示しなければ、入荷量が需要量か供給量を規定することができないと指摘があった。また、このことに関連して、需要曲線、供給曲線のシフトを理解している生徒がどれだけいるのか、我々はしっかり教えられるのかという議論が参加者の間で交わされた。



4. 野間先生から、河原先生(立命館大学・関西大学中等部)の資料「ネタ・ゲームを通じて見方考え方を培う経済の授業」を用いて、「君が落盤事故にあったなら」、「AKB48とEXILEから所得を考える」、「恋愛と投資」、「プールは欲望か必要か」などのネタを使って、「経済の見方や考え方を身につけさせる方法について」の説明があった。
5. 川瀬先生より、札幌部会の高校の先生たちが関わって執筆している『公民教育の新展開』(学事出版)の配布と紹介があった。そして、次回の課題として以下の2点が提示された。
 - ① 授業のネタがあれば持ち寄ること
 - ② 今回の議論を踏まえて、より発展したサンプル問題を持ち寄ること

(文責:山崎 辰也)

次回開催予定: 2月2日(土)14:30~17:00。

場所はSapporo55ビル5階キャリアバンクセミナールーム。

議題は、授業のネタ、サンプル問題の作成、参加者からの活動報告、その他。